

九州大学病院

研修医 結城 光太郎 2015年10月

初めまして、九州大学病院研修医2年目の結城光太郎と申します。2015年10月に地域医療研修として1ヶ月間出水市で研修させていただきました。

研修内容としては、院外研修として、高尾野診療所、野田診療所、上場診療所への往診、出水保健センターでの健診などを行いました。院内研修としては、出水総合医療センター総合内科での研修を中心に、救急外来での救急車対応、消化器内科で内視鏡、整形外科手術、また医療安全・医療連携・臨床検査・リハビリテーションなど様々な部署でお世話になりました。

診療所では外来診療、往診による慢性期疾患のフォロー、腹部エコー、心エコーなどの検査を行いました。今までに経験のない外来診療で、限られた時間の中で患者さんとの関係を築き、合併症の進行・新規病変の出現に注意しながら診察することの難しさを強く実感しました。walk in の心筋梗塞などの緊急疾患も経験し、貴重な経験となりました。また、検査においても外来で忙しい中マンツーマンでの指導をしていただき、大変勉強になりました。

院内研修では、総合内科で初診患者さんの問診・診察をさせていただきました。得られた情報・所見から追加検査・治療方針を決定していくプロセスを理論的に学ぶことができました。吉井先生の思考過程に触れ、付け焼き刃ではない系統的な知識が必要だと改めて感じました。

また救急外来での救急車対応も経験させていただきました。大学病院の研修では触れる機会の少ない common disease の初期対応を経験できました。救急外来、検査室、他科の医師・スタッフとの連携がスムーズであり、救急外来到着から検査、入院までがスピーディだったのが印象的でした。

保健センターでの健診、院内における臨床検査、医療安全、地域医療連携、リハビリテーション科での研修を通じて、様々な職種の方の医療への関わり方を実際に見ることができました。市民の健康を支えるには多様な角度からのアプローチが必要であり、私たちの安全・健康は多くの人に支えられていることを実感するとともに、医療を支える一員として努力していかなばならないと思いました。

最後になりましたが、ご多忙の中ご指導いただいた先生方、コメディカルの方々、スタッフの方々、診察させていただいた患者の皆様、誠にありがとうございました。この出水の地で学んだことを糧に、立派な医師になれるようより一層努力していこうと思います。